

## 沿革

1897年	6月	京都帝国大学設置の勅令が交付され、分科大学として医科大学を置く旨制定される	1962年	4月	薬剤部設置	1991年	4月	光学医療診療部設置	2005年	10月	医療法承認病床数1,220床になる							
1899年	7月	医科大学開設、医学科設置(内科学2講座・外科学2講座)	1964年	3月	外来診療棟竣工	1992年	1月	中央診療施設棟、第二臨床研究棟竣工	2006年	12月	黄斑疾患治療センター設置							
	9月	医科大学附属医院看護婦見習講習科開設(1916年3月17日 看護婦講習科に改称)	4月	脳神経外科診療開始(脳神経外科学講座設置)	4月	臨床代謝栄養学講座設置	4月	総合診療部設置	2006年	4月	敷地内全面禁煙の実施							
	12月	医科大学附属医院開設、内科および外科の診療開始 医科大学附属医院規程制定	1966年	3月	第一病棟竣工 ヒューマン・カウンター室設置	1993年	4月	医療廃棄物焼却炉竣工			事務部に新病院整備推進室を設け5課1室制となる							
1901年	9月	婦人科、産科診療開始 (1901年6月 婦人科学産科学講座設置)	1967年	3月	ベータトロン照射室、高圧酸素治療室完成	1994年	8月	医療廃棄物焼却炉竣工			診療報酬業務センター、外来事務センター、安全衛生管理室を設置							
		内科観察室(1929年4月1日 隔離室に改称)業務開始	4月	老年科診療開始(老年医学講座設置)	6月	病棟名変更(内科系総合病棟を北病棟、外科系総合病棟を南病棟、精神科神経科病棟を西病棟にそれぞれ変更)	6月	院内学級開設			外科の専門診療科として消化管外科、乳腺外科、肝胆膵・移植外科、小児外科を設置							
1902年	4月	眼科診療開始(1901年6月 眼科学講座設置)	1968年	7月	人工腎臓室業務開始	1996年	4月	消化器内科診療開始(1994年6月 消化器病態学講座設置)	6月	6月	放射線科、核医学科を統合再編し、放射線科として、放射線治療科と放射線診断科を設置							
1903年	1月	小児科診療開始(1902年5月 小児科学講座設置)	8月	未熟児センター業務開始	12月	医療法承認病床数1,100床になる		病態栄養部診療開始(1994年6月 病態代謝栄養学講座設置)			心臓血管疾患集中治療部設置							
		皮膚病微生物科診療開始 (1902年10月 皮膚病学微生物学講座設置)	1969年	4月	理学療法部設置	1970年	3月	移植外科診療開始(1995年4月 移植免疫医学講座設置)			医療法承認病床数1,182床になる							
		耳鼻咽喉科診療開始(1905年3月 耳鼻咽喉科学講座設置)	1970年	3月	外科系総合病棟およびサービスサプライ棟竣工	1977年	4月	ボランティア制度導入			11月	病歴管理室設置						
1904年	3月	精神科診療開始(1902年9月 精神病学講座設置)	5月	中央情報処理部設置	1972年	4月	胸部疾患研究所附属病院と統合(病棟の名称は南西病棟とする)	1998年	4月	2007年	4月	中央診療センターの見直しにより、産科分娩部が周産母子診療部に、病態栄養部が疾患栄養治療部に、理学療法部、						
1906年	6月	整形外科診療開始(1906年4月 整形外科学講座設置)	1973年	3月	衛生検査技師学校廃止	4月	呼吸器内科診療開始					テイ・ケア診療部がリハビリテーション部に、光学医療診療部が内視鏡部に、病理部が病理診断部に、分子細胞治療センターが輸血細胞治療部に、材料部、ME機器センターが医療器材部に再編						
1909年	4月	狂犬病治療研究室設置	4月	輸血部設置	4月	呼吸器外科診療開始		大診療科制の導入により、第一内科、第二内科、第三内科、消化器内科、呼吸器内科、感染症科は内科に、第一外科、第二外科、移植外科は外科にそれぞれ改称				がんセンター設置						
	5月	内科学第三講座設置	1974年	4月	事務部が総務課、管理課および医事課の3課制となる		呼吸器内科診療開始					2009年	1月	テイ・ケア診療部を設置				
1911年	10月	医科大学附属医院産婆養成科設置			分娩部設置		感染症科診療開始					2010年	3月	積貞棟竣工				
1919年	2月	帝国大学および学部が制定され、医学部設置	1975年	4月	助産婦学校廃止、医療技術短期大学設置(看護科、専攻助産学特別専攻)		呼吸器外科診療開始					12月	12月	南西病棟廃止				
		医科大学附属医院を医学部附属医院に改称	1976年	5月	看護部設置	1999年	4月	臓器移植医療部設置				2011年	1月	医療法承認病床数1,121床になる				
1922年	3月	看護婦産婆養成所設置 (看護婦講習科および産婆養成科廃止)	10月	10月	形成外科診療開始(1987年5月 形成外科学講座設置)	8月	外来診療棟竣工					2月	2月	高度治療部設置				
1923年	4月	癩特別研究室設置	1977年	4月	狂犬病治療室を小児予防接種治療室に改称	2000年	1月	テイ・サージャリー診療部設置						リウマチセンター設置				
1927年	7月	外科学および整形外科学研究室ならびに手術場竣工	1977年	4月	看護学校廃止		10月	新外来診療棟にて臓器別診療体制により診療開始				6月	6月	先端医療機器開発・臨床研究センター竣工				
1931年	3月	婦人科学産科学教室および病舎竣工	1978年	3月	核医学科診療開始(1976年4月1日 核医学講座設置)		3月	地域ネットワーク医療部設置				9月	9月	脳卒中診療部設置				
1933年	5月	食餌療法研究室設置(1938年7月1日 栄養治療室に改称)	4月	4月	RI診療棟竣工	2001年	3月	遺伝子診療部設置				12月	12月	iPS細胞臨床開発部設置				
1934年	3月	耳鼻咽喉科教室および病舎竣工	1978年	4月	医学部附属臨床検査技師学校廃止		4月	探索医療センター設置				2012年	4月	病理診断部を病理部に再編				
	7月	泌尿器科診療開始(泌尿器科学講座設置)	1980年	3月	人工腎臓室を人工腎臓部に改称			副病院長制度導入						リハビリテーション科及び病理診断科を設置				
1938年	6月	癩特別研究室を皮膚特別研究室に改称	4月	4月	ライナック治療室竣工	2002年	7月	医療安全管理室設置				2013年	4月	がん薬物治療科設置				
	11月	中央レントゲン室を理学的診療室に改称			病理部設置、医用材料学講座廃止、			老年科、神経内科を内科に統合し、						探索医療センター、治験管理センター、				
1943年	5月	歯科診療室設置(1949年5月 口腔外科学講座に改称)			医用高分子研究センター設置			内科の専門診療科として血液・腫瘍内科、						医学研究科EBM研究センター、				
1944年	8月	理学的診療学講座設置			9月	9月	9月	内分泌・代謝内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、						医療開発管理部を統合し、臨床研究総合センター設置				
1945年	4月	医学部附属医院厚生女学部(看護婦養成施設)設置	1981年	4月	栄養治療室を病態栄養部に改称	1982年	3月	免疫・膠原病内科、老年内科、糖尿病・栄養内科、						6月	6月	診療報酬業務センターを診療報酬センターに名称変更		
1947年	9月	京都帝国大学を京都大学に改称	1982年	3月	ベビーサイクロトン室完成		4月	総合診療科、神経内科、腎臓内科を設置						9月	9月	内分泌・代謝内科と糖尿病・栄養内科を統合し、		
1948年	5月	医学部附属医院厚生女学部に専攻科設置	1982年	4月	心臓血管外科診療開始 (1981年4月1日 心臓血管外科学講座設置)		10月	ME機器センター、分子細胞治療センター、感染制御部を設置								糖尿病・内分泌・栄養内科を設置		
1949年	5月	新制京都大学が発足、			中央情報処理部を医療情報部に改称		12月	治験管理センター設置								老年内科廃止		
		医学部附属医院は医学部附属病院に改称	1983年	12月	放射線部に放射線治療部門を設置	1983年	12月	卒後臨床研修センター設置				2014年	4月	4月	高齢者医療ユニット設置			
		看護婦養成施設は医学部の附属となる	1984年	4月	臨床検査医学講座設置	1984年	4月	中央診療部門を統合再編し、中央診療センター設置								臨床心理室設置		
		口腔外科学講座設置、理学的診療学講座を放射線医学講座に改称	1985年	3月	MR棟竣工	1985年	3月	病院長補佐制度導入								緩和医療科設置		
1951年	3月	看護婦養成施設を看護学校に改称			皮膚病特別研究施設廃止			経営企画部設置								11月	11月	テイ・サージャリー診療部を手術部に統合
		医学部附属病院厚生女学部専攻科を廃止、			4月	4月	4月	女性のこころとからだの相談室設置										高度治療部廃止
		医学部附属看護学校に改称	1986年	4月	集中治療部設置	1986年	4月	外来化学療法部設置				2015年	3月	3月	3月	3月	3月	先制医療・生活習慣病研究センター設置
1952年	9月	医学部附属看護学校助産婦科設置	1987年	10月	第一臨床研究棟竣工	1987年	10月	医療開発管理部設置										
1954年	4月	医学部附属看護学校助産婦科を医学部附属助産婦学校に改称			11月	11月	11月	看護実践開発センター設置										
1956年	4月	麻酔科診療開始(1955年7月 麻酔学講座設置)	1988年	3月	精神科神経科棟竣工	1988年	3月	新病院整備推進室設置										
1957年	4月	皮膚特別研究室を皮膚病特別研究施設に改称	1988年	6月	医療法承認病床数1,080床になる	1988年	6月	病院執行部設置										
1958年	2月	中央診療棟竣工	1989年	5月	テイ・ケア診療部設置	1989年	5月	総合臨床教育・研修センター設置 (看護実践開発センター廃止)										
1959年	4月	事務部に管理課、業務課の2課を設置	1990年	6月	脳病態生理学講座設置、医用高分子研究センターを	1990年	6月	事務部が総務課、経営管理課、経理・調達課、										
		医学部附属の学校施設として、衛生検査技師学校設置			生体医療工学研究センターに改称			医務課、医療サービス課の5課制となる										
								病院運営企画室設置(経営企画部廃止)										

